

2017年5月9日

いすゞ、インドシナ・メコン地域にトラックのサービス拠点を開設

～Truck Service Factory 設立～

いすゞ自動車株式会社(本社：東京都品川区、社長：片山正則、以下「いすゞ」)は、海外市場におけるアフターセールス体制の強化、お客様満足度の向上を図ることを目的に、Truck Service Factory (トラック・サービス・ファクトリー、以下「TSF」)を、インドシナ・メコン地域におけるクロスボーダー物流の要衝であるラオス南部、サワナケット県に開設し、5月より営業を開始します。

TSF が位置するサワナケットは、ミャンマー、タイ、ラオス、ベトナムを結ぶ東西経済回廊と中国、ラオス、カンボジアを結ぶ中央経済回廊を利用するインドシナ・メコン地域におけるクロスボーダー物流の最大結節点であり、日系を含む多くの物流企業が越境輸送事業を展開しています。

TSF ではいすゞ車に限らず、あらゆる商用車メーカーのアフターサービスを行うことで、今後も増加が予想される越境物流における「運ぶ」を、日本品質の高度なアフターサービスで支え、インドシナ・メコン地域の経済発展に貢献して参ります。

あわせて、アフターサービスを通じて把握する様々な情報を通じ、現地での実際の商用車の使われ方を熟知することで、お客様に更にご満足いただける「ものづくり」と「稼動サポート」体制の実現を目指してまいります。

<新会社概要>

(1) 名称	ISUZU Truck Service Factory Lao Co.,Ltd. いすゞ トラック サービス ファクトリー ラオス
(2) 所在地	ラオス人民民主共和国サワナケット県 Savan-Seno SEZ Zone B1(サワン・セノ経済特区 B1 ゾーン)
(3) 代表者	樺山 麻樹
(4) 事業内容	商業車の修理・点検・整備、補修用部品販売、市場情報の収集
(5) 資本金	860,000 米ドル(約 1 億円)
(6) 設立年月	2015 年 12 月
(7) 営業開始	2017 年 5 月
(8) 出資比率	いすゞモーターズインドチャイナ(いすゞモーターズアジア 100%)80%、 ISUZU LAO VSA 20%

以上

